



立春三候 早梅観都 うめ

七十二候名花畫帖 立春三候 早梅観都 うめ

こせしよせき 巨勢小石圃 明治二十四年(一八九一)八田善之助刊 木版多色刷、折粘仕立見開き一面一図 全四帖七十二図。太陽暦の一種、立春から大寒まで二十四節気に分け、一節十五〜六日となし、更に初候、二候、三候を五〜六日として七十二分し、各候に四文字で植物を表す。七十二候名花を当てたのは山本卓夫です。

information

年末年始営業時間のお知らせ

12月31日 9:00~18:00
1月1日~3日 10:00~16:00
1月4日より 9:00~19:00

NHK出演情報

◇総合 あさイチ「グリーンスタイル」
出演:小笠原智
*放送/1月4日(金)午前9:30頃~

花かがみ HANA-KAGAMI

発行人/小笠原 智 発行所/名古屋園芸株式会社
〒460-9005 名古屋市中区東橋2-18-13 tel.052-631-8701
http://nagoyaengei.co.jp/

19 1

名古屋園芸

植物のある暮らしを



① スイートピーのナチュラルアレンジ ¥3,500+税



② スイートピーブーケ ¥3,000+税



③ スイートピーのモダンアレンジ ¥5,000+税

バースデーフラワー

~スイートピー~

新春を迎え、厳しい寒さの中にもすがすがしが感じられる1月。今月のバースデーフラワーはスイートピーをおすすめします。

スイートピーはマメ科レンリソウ属の草花のこと。17世紀末、イタリア・シチリア島で見つけられたつる性の植物です。原種のスイートピーの色は紫だけで、当時は花ではなく香りを楽しんでいたようです。

スイートピーは19世紀になるとイギリスやアメリカで改良が進み、多くの品種が誕生しました。イギリスのエドワード7世の妻、アレクサンドラ王妃がこよなく愛した花で、式典や晩餐会でよく飾られていたそうです。そのおかげでスイートピーは世界的に有名になり、日本にスイートピーがやってきたのは江戸末期の幕末のころ。栽培は大正時代に東京(多摩地区)で始まったと言われています。

そして現在ではパステルカラーを中心に、様々なカラーが存在するようになり、そのかわいらしさから花束やアレンジメント、ウェディングブーケなどに用いられ、依然、高い人気を誇っています。また、1月はスイートピー出荷の最盛期を迎える月。そのような中で、1月21

日は「スイートピーの日」と呼ばれています。その由来は3種類の花びらが左右対称に「1、2、1」と並んで一つの花となっていてこのことから、有名な歌謡曲「赤いスイートピー」がリリースされた日でもあるようです。

そんな1月と縁のあるスイートピー。今月はバースデーの贈り物としてスイートピーはいかがでしょう。

information

この季節のオススメ!「花の講座」

1dayレッスン
講座No27 コンテナで育てるバラ栽培
2019年2月10日(日) 10:30~11:30



*超骨太! 地元・稲沢産の極上バラ苗を使用!

毎年ご好評の2月販売の「完熟ローズ」。名古屋園芸が地元・稲沢の生産者さんとタイアップしてご提案している極上のバラ苗です。名古屋で育てやすい品種を選定し、名古屋に近い環境で、霜りあげ適期までじっくりとふかふかの畑で「完熟」させたバラ苗は、秋に出回るバラ苗よりも太くがっしりとした株に! 春の花つきは驚くほどです。

この講座はその「完熟ローズ」を使用します。どんな品種がくるかはお楽しみ! 剪定や季節によっての管理方法など、初心者の方にもわかりやすくお話しします。ちょっと難しそうなお話しがしてしまったりバラ栽培のイメージを覆す、オススメの講座です!

・講習費:1,000円+税・材料費:3,000円+税
・講師:小笠原 智

◇お申し込みは 花の講座専用
TEL052-957-3391 (平日9:00~17:00)
Webでのお申し込みは24時間OK!
名古屋園芸で検索



1巻 稲(イネ) 29巻 文菊(ヒマワリ) 31巻 ごんしん五穀子(スターフルーツ)



〔重修〕植物名実図考 11巻 菊(キク)

花の博物館 第276回

植物名実図考 正編 長編共 六十冊

中国清・呉其濬著
同治五年(一八六六)本署蔵版
小笠原左衛門尉亮軒

「日本博物誌総合年表」磯野直秀編著、平凡社刊の本書の記載を引用させてもらう。正編三八巻、一七四品の形状・産地・用途を簡潔に述べ、自己の見解を加え、図を添える。配列は「本草綱目」に準じており、図は縦にして優れている。「長編」は八三八品についての古今の著作の叙述を収録したもので、著者自身の実見に基づき、中国産植物の研究に關してもっとも信頼すべき資料といわれる。日本では、小野蘭堂が重修し、「(重修)植物名実図考」四八部として明治十六(二十二年)(一八八三)に活版で刊行した。

園芸店の植物図鑑

=ザミオククルカス=

小笠原 悠



初めて「ん?」と思ったのは6年前、ドイツ滞在時に研修先のガーデンセンターで2畳ほどの面積がある什器にびっしり陳列されているのを目にした時です。

厚みのある深緑の葉がピシッと生えている様子はカッコいい一言。一方で、対生《たいせい》:茎や枝の1箇所から2枚の葉が出ること。左右交互に1枚ずつ出るものは互生(ごせい)に付く葉が綺麗に並ぶ割に、地際から生える茎はそれぞれ右に逸れたり左に逸れたり無秩序。せつかく光合成効率が良くなるように葉を規則正しく展開しているにも関わらず、互いに無秩序に伸びた隣の茎と重なる詰めの甘さになんとか愛着を持ちます。

この植物、名前を「ザミオククルカス ザミフォーリア」と呼びます。観葉植物では割と大所帯なサトイモ科に属しますが、その中でもザミオククルカス属は本種のみということからも、奇異な存在であることがうかがえます。ソテツの一種であるザミアに葉が似ていることからこの名が付けられ、アフリカ東部がルーツです。

欧米では日本以上にポピュラーなのか、大抵のガーデンセンターで目にする事ができます。英語圏でも日本同様学名であるZamioculcasで流通していますが別名もあります。その別名を「Zanzibar Gem(ザンジバルの宝石)」といい、原生地であるアフリカ東部にあるザンジバル諸島の名を冠しています。この奇妙な形をした植

物をザンジバルから欧米各国へ流通させたことによって財を成した人がいたのか、それとも丸っこい葉の形をコインに見立てたのかはわかりませんが、この魅力的な容姿からそう名付けたのも頷けます。

ちなみに日本での別名は金銀樹。直球ど真ん中ですね。同じく葉に厚みのある「金のなる木」に負けずとも劣らないネーミングに思いますが、浸透度は「金のなる木」と比べてイマイチです。名付けにはロマンも必要なのかもしれません。

育て方ですが、葉に厚みのある植物に共通の乾燥に強いタイプで、特に冬季は寒い部屋に置く場合、春まで水は必要ないほどです。同じサトイモ科で観葉植物の代表的な存在であるポトスやモンステラ同様、ある程度暗い場所でも耐えられます。もちろん健康的に育てるには日光が必要で、レースのカーテン越しが理想と言えます。根の生育が早いので、1~2年に1回土を新しくする目的も兼ねて初夏の頃に植え替えてください。一方で地上部は1m以上にはなりません。

艶やかな葉を持ち、独特なフォルム、大きくなりすぎず、横に広がらず、ある程度の日陰にも耐える。マンション、アパート住まいの方にはこれ以上無い理想的な揃った観葉植物。ザンジバルの宝石を貴方に。2階売場でお待ちしています!